

# おんじゅく

The Onjuku Koho

72-10

昭和47年

第111号

千葉県御宿町役場発行



土に生きて50年。足のうらに土の感触が快い。丸い背に夕日があたるまできょうも働く

# 望ましい町の未来像

## 町開発基本構想できる

9月町議会で承認

九月定例町議会（九月二十五日

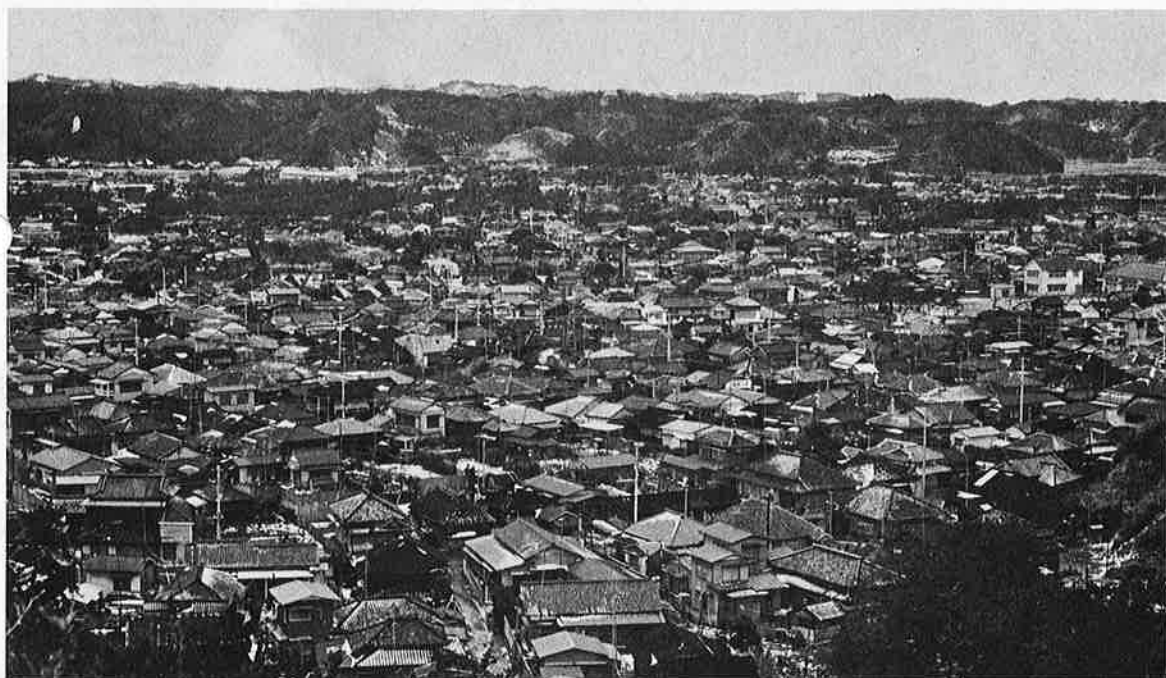
招集）で、町の開発基本計画

が承認されましたので、そ

の内容を発表し、住民み

なさんご批判をいた

だきたいと思えます



## 御宿町の将来展望

### (1) 発展方向

本県は、現在工業生産の飛躍的拡大をはじめ、産業の各方面にわたり発展の渦中にあるが、このような傾向は主として首都からの一日生活圈である近郊整備地帯内に限定されており、それ以外の地域においては人口が漸減していることから明らかにやうに停滞が余儀なくされている状況である。

当町の場合もこの例外ではなく首都から百キロ圏内に位置すると同時に、通勤圏内に京葉工業地帯および工業都市茂原市を含む立地条件上の有利性にもかかわらず、比較的开发の遅れた地域の一つとして位置づけられてきた。しかしながら、本町は南側一帯が太平洋に面し、およそ三キロメートルにおよぶ海岸の自然景観はすばらしく月の沙漠をはじめ豊富な観光資源を有していること、沿岸栽培漁業のさかんなことなどから、外房線の電化、複線化されたあかつきに、首都圏との時間、距離の短

縮によりきわめて高度な開発可能性を有し、将来急激に膨張する首都圏人口に対する保養住宅地、海洋観光地として飛躍的発展をとげるものと想定される。

### (2) 開発の基本

このような客観的諸条件の変化の認識のもとに本町開発の基本をつぎの三点に置き、昭和六十年を目標年次とした住みよい豊かな町づくりを推進する。

イ 人口

昭和四十五年国勢調査時点での当町の人口は八千四百七十五人であったが、目標年次（昭和六十年）までには保養住宅地の強化、観光客の増加に伴うサービス業の発展等により、おおむね一万人程度に増加するものと考えられる。

また、世帯数も核家族化の進行と人口増による世帯の増加が相まって、昭和四十五年の二百三十六世帯が目標年次には約二千五百世帯になるものと想定される。

ロ 就業構造

観光産業の発展等により将来町の総就業者は昭和四十五年の三千九百九十五人から四千八百人へと一、二倍の増加となるが、第一次産業就業者は昭和四十五年の千三百二人から千二百六十人へと約三パーセントの減少となり、第二次、第三次産業就業者がそれぞれ千七人から千七十人へ、千六百八十六人から二千四百七十人へと増加するものと予想されるので、就業構造は高度化されることとなる。

#### ハ 生活水準

就業構造の高度化、農漁業等の近代化によって町民一人当りの所得は漸次増加し、産業内格差も逐次解消されて住民の生活は安定し豊かなものとなる。

また、これに伴って町に対する行政需要も生活環境施設の整備を中心として、多様化、高度化してくると考えられるので、これに添えて、各種の公共施設の整備が行なわれ明るい近代的な生活が営まれることとなろう、したがって町としてはそのための方策として各部門ごとに以下に述べるような施策を

重点的に、実行していく考えである。



観光産業の発展により第三次就業者がふえる

## 2、施策の大綱

- (1) 基礎的条件整備の方向  
イ、土地利用の基本方針

現在町では外房線以南の平坦地に市街地形成されており総人口の七十九パーセントを占めている。近年の観光開発により、須賀、浜地区の海岸道路沿、宅地造成により新町六軒町地区の東部が逐次市街地の傾向をおびてきたが、他方においては恵まれた自然景観をそこなう開発、低廉な土地を求めて無秩序な開発、

農地のかい廃等土地利用上さまざまな問題が生じつつある町は、これらに対処して無秩序な土地利用を抑制し、合理的な土地利用と計画的公共投資のもとに公共用地の確保と自然資源の有効な活用と保護を行なわなければならない。以上つぎのような土地利用構想により、スプロールを防止し、明るい住みよい町づくりを推進する。

- ◎ 健康な観光レクリエーションの町

- ◎ 生産性の高い優良農地を確保した生鮮食糧供給基地

- ◎ 緑と太陽と新鮮な大気につつまれる海岸保養住宅の町  
なお、各用途地域の配置計画はつぎのとおりとする。

- ① 商業地域

既成商店街の整備充実をはかり、周辺に拡大するとともに駅前通りに近代化された新商店街を予定する。

- ② 住居地域

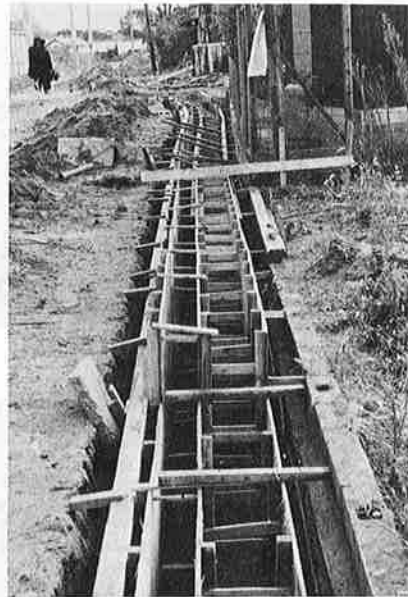
通勤住宅地として現市街地外周部を保養住宅地として、須賀、浜、高山田地区の後背地を充てる。

- ③ 風景景観地域

国定公園内にある海岸全域およびその後背地を中心に指定する。

- ロ、道路網整備の方向

本町の道路は国道百二十八号線をはじめ、県道が四路線でそれぞれ町の要衝を通過している。これらの路線は、最近の道路事情からして急速に整備され、数年後には完全舗装される状況にある。



生活線道路といわれる支線道路の改良も進めます。

上げる。また、県においては調査、検討中の外房シーサイドラインおよび大型農道の早期実現に協力する。

ハ、水資源確保の方策  
近年の観光開発進展に伴い、観光人口および観光施設の増加、町民の生活用水、農業用水等水の需要はいちじるしく増加しており、これら各種用水の確保のため広域的、総合

一方町道基幹線は、ほぼ改良されたので今後引き続き側溝整備、舗装等を積極的に推進し、常に良好な道路環境の維持に努める。  
そのほか日常の生活線についても、できる限り整備をすすめ、目標年次までには舗装率六十五パーセント以上に引き

## (2) 産業振興の方向

イ 農業振興施策の方向

本町の農業は、その地形が外房特有の比較的急しゅんな丘陵の間に耕地が帯状に開けその規模は小さく、かつ階段状を呈しているために大規模な基盤整備が阻害され、

大型機械の導入など農業の近代化に限度があるが、暖冬の気象条件を生かし早場米の生産、果樹の植栽、草地造成による酪農ならびに他の畜産の振興を図り、首都圏からの距離的有利性を生かし観光農業としての基盤を確保する。これを達成するためには生産単位ごとの品種の統一、可能な限りの機械利用による省力化、技術の平準化による品質向上技術と積極的に導入していくものとする。また、当地域の農業は自立経営農家の育成に重点をおく、一戸当りの所得目標を二百万円以上とし、その手段として複合経営、単一経営別に標準タイプを設け、各々労働力二人以上をもって達成をはかれるよう指導していくものとする。

これを農業協同組合にて集積し、一元集荷、多元販売方式により適正価格の維持がはかられるようその組織体制の整備を推進するものとする。



自立経営農家の育成が望まれます。

ロ、水産業振興施策の方向

本町の磯根資源は比較的恵まれており、この磯根より捕獲される高級漁介類は観光の進展と相まって、その需要は年増加の傾向にあるため一時は乱獲気味となり漁獲高は現在漸減状態にあり、川えて労働力の減少等により生産は停滞しつつある。

このような状況から、今後の漁業を發展させるために生産の基本的な施設である漁港の整備、栽培漁業の育成、漁場の改良造成、流通および加工の近代化等総合的な施策を推進する。また、漁船の装備、漁法、漁具等については、漁業協同組合等の努力により近代化されてきたが、さらに省力機器の導入、漁業技能者の育成、漁民による研究グループの助成を行ない、生産性の高い漁家経営体の育成を図るものとする。なお、観光と漁業を結びつけた遊漁船については、漁業権等に支障のない範囲で助成する。

ハ、観光開発の方向  
 御宿町観光開発のテーマは、  
 ①健康で明かるい観光地  
 ②住民参加と住民利益  
 ③観光演出  
 の三点である。

この三点のテーマを実現させるためには、観光の将来性、望ましい観光の在り方、開発の基本的姿勢を計画し実行しなければならぬである



外房線の電化によりこれからの観光の飛躍が望まれます。

観光本来の目的は、一時的に自らの生活圏を離れ、見たい知りたい、体験したい、参加したいという人間の欲求を満たすことであるといわれている。なかでも、体験したい、参加したいという観光客体がふえつつあることは注目される。

このような観光客体は、首都圏における生活環境の悪化からのがれ自然を求めてくるであろう。こうした観光の将来

を見きわめ、観光需要を満たすためには、限られた地理的条件を考慮しつつ施設の位置づけを明確にし、町の特色を十分に發揮し計画をたてて、自然保護対策をし施設づくりをする必要がある。

以上のような観点から、当町における観光開発の方向づけをする、夏の海水浴型観光を基盤として、一季型から通年観光へ除々にもっていく。

その一つの方向づけは、県南総開発局および県道路観光公社による大レジャーセンターゴルフ場、保養団地の建設であるが、これらはいずれも自然を生かした施設づくりが大前提となる。このような県の開発方針と協調するとともに町独自の開発も進められている。

月の沙漠記念像。大プール、駐車場の整備、アジサイ公園記念碑展台等がある。いずれにしても本町の観光は、新東京国際空港、房総東線複線電化、国鉄新幹線網の建設、および道路網の整備等により大きく飛躍するものと期待される。



活発な意見の発表をする子ども会のよい子たち

# ぼくたちの 話もきいて

## 現代っ子の注文山積

子どもたちの考えていることは、時として、すばらしいアイデアがあり、真実性があり、楽しい夢があります。

町の将来を背負っていく子どもたちが、成人になるころには、いまの夢が現実となっていることが

### 意見は堂々発表しよう

各部落に子ども会ができてだんだん活動が活発となってきました。子ども会は、自分たちの自主的な活動の場です。みんなで相談し、きめたことがらをどんでん実行し

多いのではないのでしょうか。そういう意味で、子どもたちの純真な夢を素直にきき入れて、子どもたちの将来をみまもっていくことは、わたしたちの義務のようにも思えるのですが――。

ていくことが望まれます。

そこで、新町区の子どもの会、五六年生を対象に、子どもたちの考えている町づくりと子ども会のこれからの在り方について話し合いました。

おおぜいの人の前で堂々と自分

の意見を発表できるよい子たちが十七名集まりましたので、おもしろいお話し合いができました。

### 自分の町に興味示す

最初に町のようすを産業、人口面積、町でいま行なっている事業とか、町長の名前を知っているかなどをきいてみました。みなさん自分の住んでいる町ですから、よく知っていました。

### 町への注文たくさん

これから町にどんな施設がほしいかきいてみました。

学校プールやゲームセンター、自転車専用道路、総合グラウンド、町営ボウリング場などの意見が多くでした。

さらにきびしい注文がだされました。それは、駅のご線橋に屋根をつけてほしい。

駅前をもっときれいにしてほしい。児童館をきれいに建直してほしい。

子ども会の学習塾がほしい。プールの入場料は百円では高すぎるといった意見発表がありました。

### よく学びよく遊ぶ

いまの子どもは、勉強に追われ自分の時間がほとんどもてないというなやみを打明けてくれました。学校の他に学習塾へ通う子どもがほとんどで、なかには、三科目も習っている子どももいました。

大いに学び、大いに遊び、娯楽も人なみ以上にしたい、その上、家の手伝いもするという現代っ子はスーパーマンのような生活がつづいているのでしょうか。

### 仕事は自分でできそう

これからの子ども会は、もっともっと自分たちのことは自分たち

の手でやろう、自分たちの身のまわりを見わたし、お金をかけずにみんなに喜んでもらえる仕事をみつけたし実行しよう。町でつくってくれた児童館や子どもの遊び場を自分たちの手できれいにし、たいせつに使おう。小さい子どもに勉強や遊びをおしえて、手をひっぱって仲よくやっつけよう。そして子ども会の約束ごとをきめ、自分たちの会を立派なものにしよう。自分たちが考えたよい考えを実行するときに相談がしたいときは青少年相談員によく相談して、よいことをどんでんやっつけよう。



町の中心にも児童館を建ててほしい

文

化

展



文化の日(十一月三日)から五日まで文化展を行ない、文化の日の意義を認識していただくとともに、趣味や技能を発表し、広く住民に観賞していただき、おおぜいの人が参加できるように、広い範囲から作品募集が行なわれました。なお、体育祭は雨のため午後から中止されました。

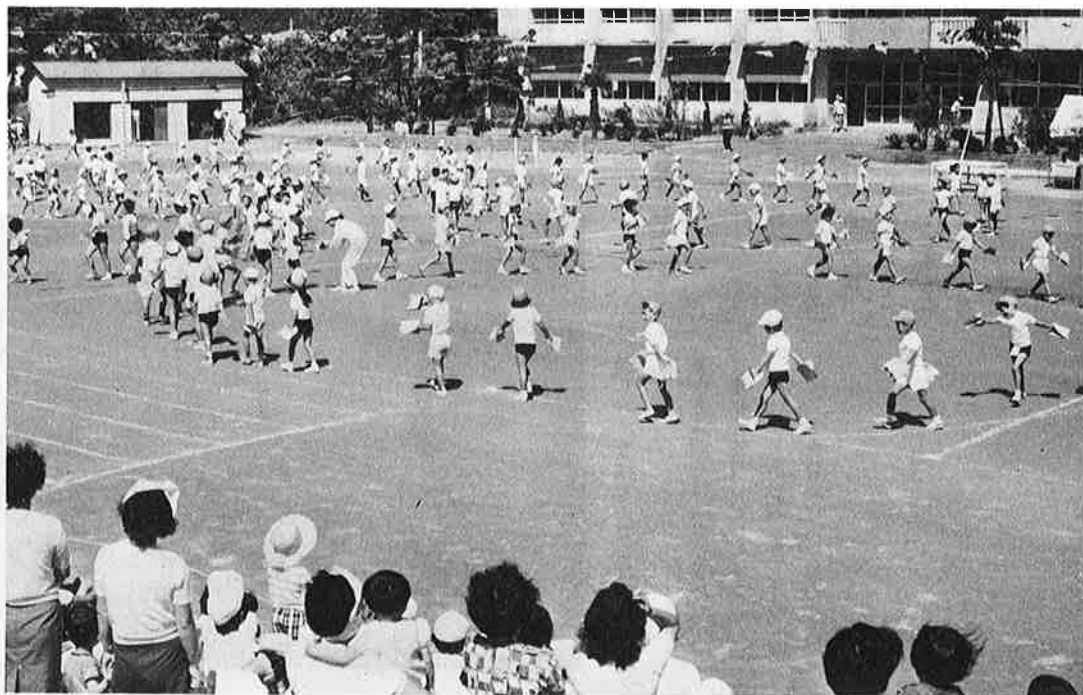


② 飛び石連休のため文化展は連日たくさんのお見物客でにぎわった



③ ④ 剣道は豆剣士の活躍が目立った

⑤ 園児の遊びはみんなの拍手をもらった



# 働いて、楽しんで、

## いつまでも若く

### 岩和田区八塩老人クラブ

きようは、岩和田区にある八塩老人クラブ（大野宗吉会長）をたずね、クラブの活動のようすやおとしよりの福祉に対する考えや生活のようすをきいてみました。

これからの政治は、内政中心の政治であり、福祉行政が重要な課題だといわれています。政府もようやく重い腰をあげましたので、欧米の先進福祉国家の仲間入りができるようになる日が一日も早い

ことをねがわずにはいられません。

わが国もようやく長寿国の仲間入りをはたしてきました。つまり平均寿命が、男七十歳、女七十五歳。と長生きできることは大へんよろこばしいことです。岩和田の老人クラブ会員もごたぶんにもれ

ず若く、活気さえ感じられます。

会員の最高齢者は九十一歳、最低が六十歳。親子ほど年の開きがありますが、どなたも年齢を感じさせない若さがあります。

核家族化の現象が都会から地方へと、その波がおしよせているなかで、この会のなかに、息子や娘が都会で独立し、おとしよりだけ地元に残している家庭が四家庭ありました。これらのおとしより

は、おとしよりの会合の日が楽しみで、その日のくるのが待遠しいようすです。

年々若さが目立つおとしよりですが、一体働きぶりはどうなんだろうか。うかがってみますと、七十歳以上の人は、収入を得る仕事は全然していません。しかし家のまわりの畑仕事や草取りなどはどんどんやっています。一方六十歳代の人は、だいたい水産加工業の日雇労働に従事したり、民宿の手伝いもしています。

おとしよりの現在の不満をきいてみましたが、別になんのこと。普通は、経済的な不安がいちばん多いのですが、みなさんふところ具合がよいと想像されます

### 補聴器の購入簡便に

町の老人福祉事業も年々少しずつ充実してきていますが、まだまだこれからです。老人医療が話題となりましたが、おとしよりの差別をなくし、どんな保険に加入していても高齢者の医療費は無料が望ましいというご意見でした。

ここで耳の不自由な人を調べてみましたが、九名の人から、特に補聴器を安く、簡単に購入できる

よう手続きしてほしい「さかな節」をうたう手拍子もそろいますという申し出がありました。

### へそくり？

### それはいえない

老後のために貯金やへそくりがしてあったかをきいてみましたが、どなたも無言のままです。耳の悪い人が殆んどなのかと思い、念のためもう一度きいてみると、みんなの前ではいえませんということでした。

### 町のために尽したい

国や町でわたしたち、おとしよりのために力を入れてくれていますので、なんとかして報いたいものと考え、毎月十三日の会合には、

神社の境内を清掃します。この日の会合は、だまってもみんなが気持よく参加してくれます。もちろん家族への気かねはありませ



話合った後で、宴会にうつります。

宴会の幕開きは「さかな節」。

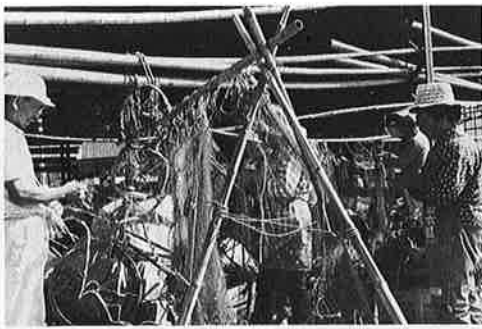
来年の正月は君が代を斉唱し、一年一年を有意義に楽しく過していくことを誓い合いました。

は、会のできごとや事業の計画を



神社の境内を清掃する会員





## 人間関係は 朝食から深まる

えび網漁の収穫のあと、網の手入れを終り、朝食にありつく。収穫の多い日は、めしの味は格別とか。ぐるり人の輪ができ、潮やけた顔がほころぶ。こんなときはきつと大漁にちがいない。世間話にしばし花がさき、漁法や漁場の研究に額をつきあわす。この一大家族の底ぬけに明るい笑声は波の音を消してしまうほどだ。さあ、あすも元気で働こう。



写真①①海に生きる人びとの朝食付き大コミュニケーション  
②網の手入れは慎重に夫婦で手分けして点検します

### 医療費がただになる

来年一月一日から  
七十歳以上の入

老人福祉法の一部が改められ、来年の一月一日から七十歳以上の

おとしよりの医療費が無料となります。

こんどの法の改正の趣旨は、老人の健康を保持するとともに、医療費の支払にお困りの人たちが、容易に医療を受けることができる

## 乳幼児の窒息に注意

乳幼児の死因の第一位は不慮の事故です。昭和四十五年の死亡別順位を例にとってみますと、一歳から四歳の幼児の不慮の事故死亡割合は全死亡件数の四十二、一パーセントで先天異常（十、六パーセント）の四倍、第三位肺炎および気管支炎（十、六パーセント）の四倍の数にあたります。

不慮の事故を種類別にみますと〇歳では吐乳やふとんなどによる窒息が最も多く、一歳から四歳では溺死が四十一パーセントを占めています

乳幼児は、精神的にも肉体的にもまだ未熟な段階にあり、事故抵抗力も弱いので、まず親など保護者による監視保護の強化と環境の整備が大切です。具体的には狭い室内の整とんと台所、風呂場、洗

よう制度化されたものです。

対象者には、町から老人医療費受給者証と老人医療費請求書が配られますので、被保険者証といっしょに医療取扱機関の窓口へだして受診されることとなります。

たく機などの管理を徹底し、また口に入るような小さい危険なものは、手近かな所に置かないという心くばりがほしいものです。さらに幼児期は、発達のテンポがとくに著しい時期ですから危険を注意したり、危険をさけたりする能力を育てる積極的な安全指導も必要です。幼児に対する安全指導は非常にむずかしいのですが、つぎの四つのことはぜひとも行なうべきです。

- ア 知識と経験とを与え、物事の性質をよく理解させる。
- イ 規律を守り、おとなとの約束を守る習慣をつける。
- ウ 運動の発達を促す。
- エ 社会性を身につけさせ、自立心を養う。

# メキシコのみんなど 友だちに

岩和田小六年

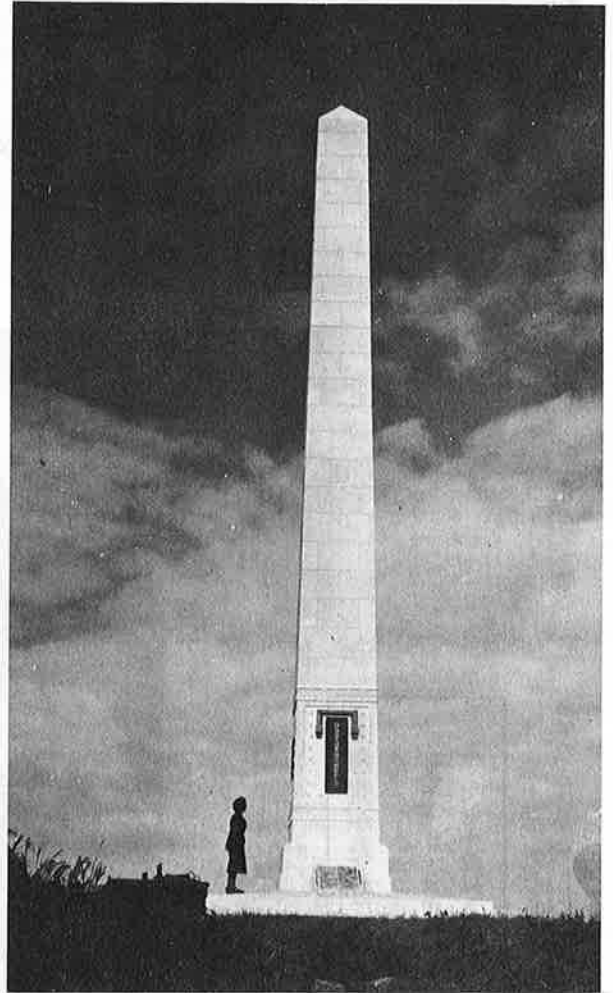
山口 泰子



わたしの組は、夏休みにアルバム作りをしました。そのとき目にとまった、記念塔の写真。「こんなに記念塔はすばらしかったかな」と思わずにはいられなくなるほど美しかった。そして、記念

塔のことを考えるようになったのは、校長先生の話をきいてからだった。  
その話によると、メキシコの人々が今から三百五十年前、つとめが終って帰るとちゆうに、岩和田の沖で船が、大風のためになんぼつした。わたしは、いまでさえこの岩和田沖で、船がちなぼつすれば助けるのが、むずかしいのに、いまから三百五十年前も前なら、ぜひたいだれ一人助からないと思っていた。でもそのころ岩和田に住んでいた人々は、海に投げだされた、半死半生になっているメキシ

コの人々を助けるために、絵出で海岸に行き、おぼれた人たちの洋服をぬがせ、自分もはだかになりつめたくなっている人をあたためたのだそうである。わたしは、海におぼれ、死にそうな人を自分の肌で、体温であたためられるだろうか。考えなおしてみると、とてもむずかしいことだとつくづくかんじた。しかも肌も髪の毛も顔の形もちがう外国人を……。  
当時の岩和田の人々が絵出で、助けたことが神にむくわれたのかおおぜいの人々が助かり、自分の国へ帰って行ったそうである。  
このことを記念して建てたのがあの記念塔である。そしてメキシコと日本との貿易をするきっかけにもなったそうである。  
それから昭和十六年に戦争が始まり、記念塔をこわすように、いわれたそうである。わたしはいくらなんでも戦争のために、記念塔をこわすのかと思った。でもそのころ、岩和田に住んでいた人々は記念塔をまもりぬいたそうである。  
わたくしたちは、メキシコの人々の友だちに、ちかにお話してあげたい。できれば、あの緑の台地にくつきりと、白くそびえ立つ



白い塔の下でメキシコの友だちと話し合いたい

記念塔の下で……。当時のことから想像しながら。  
それにしても、当時の岩和田の人々のしたことは、なんとすばらしく、うつくしいおこないだったろう。いまその当時のことを思うとき、わたしたちの祖先の人々がしたことだが、わたしまでなんとなく、心あたたまる気持になる。  
メキシコの小学生たちと友だちになって、岩和田の地で、メキシコの地で話し合うことのできる日が一日も早く、くることをわたしたちは望んでいる。

## 記念塔を見て

岩和田小五年

貝塚 昌己



岩和田の海を見おろす山の上にとびえている白い記念塔、見ただけではただの白い塔にしすぎな

いけれど、この塔につながる歴史は深いのです。

遠い昔、わたしたちの祖先が、そうなんした外国の人たちを、ころよく助けてあげたあたたかい心のしるしの記念塔なのです。わたしはこの記念塔を見るたびに、古い昔の岩和田の人たちの親切をみんなにじまじしたいような気持ちになります。わたしは、記念塔を見ると、古くからつながりのあるメキシコの国って、どんなところなんだろうかと時々想像してみることがあります。地図帳でさがして見ると、メキシコはアメリカ合衆国の南にある、割合細長い国でした。メキシコは、わたしたちの日本と広い太平洋をはさんで、はなれてはいるが、見方によってはおとなり同志ともいえそうです。「なんだ、あんがい近いんだなあ」とうれしくなりました。この国の人たちと古いころからつながりがあったと思うと、他の国より特別になつかしいようなきがしました。国を一軒の家として見れば、親類みたいな国だともいえるでしょう。

そんなふうで考えるとわたしたちは、メキシコへ行ってみたいくなります。たまにテレビや本でメキ

シコの様子を見ると、つばが広く高いむぎわらぼうみたいなぼうしをかぶり、あざやかな色の服を着てのんびりと楽しそうに町を歩く人たちが、わたしは、その人たちの中にまじってメキシコの町を歩いたり、メキシコのいなかを見たり、実際にむこうの人たちの生活を見たいと思います。もしメキシコの人たちとわたしたちがいまよりもっとさかんにいきまきすることができたらどんなに楽しいでしょう。そして、わたしたちもメキシコの人たちを日本へよんであげてけしきのよい所へ案内してあげたり、じまんの料理をごちそうしてあげたいものです。この岩和田の記念塔にもぜひきてもらって美しい海を見ながら昔のことを話してあげたい。言葉はうまく通じないかもしれないけど、喜んでむかえてあげれば、心は通じあえると思っています。そして、「おみやげはなにがいいかな」なんて考えただけでむねがわくわくしてきます。おたがいに行ったりきたりするうちにもっともっと親しくなり文化の交かんもできると思います。わたしは、きょうも白い記念塔を見てメキシコのことを思い出します。

## 布施地区チーム 連続優勝 愛護会バレー大会で



熱戦をくりひろげたママさんバレー

日ごろスポーツに縁のないお母さんたちが、バレーボールで汗を流しました。

小学校愛護会のお母さんによるバレー部落対抗は、旧御宿地区代表新町区チームと、前年の優勝チーム旧布施地区代表の間で争われ

大接戦の末セットカウント二対一で布施地区の二連勝となりました。このため布施地区チームは町代表として、郡大会に出場することになりました。

### ●くらしのしおり

## 台所はあたたかく

よく晴れた風のない寒い夜ほど深い霜がおります。冷えがあまりきびしいので、思わず戸をあけてみると、いつの間にか庭や垣根に

霜が白く光って見えます。

暖房効果を考えて、建てつけのスキ間の補修やふすまの張りかえはもうおすみでしょうけれど、う

っかり忘れられているのが台所やフロ場の防寒対策です。主婦が台所で立つて働く時間はバカにできません。一度に二時間も三時間もいるわけでないにしても、一日延べ時間にすれば相当な長さになります。台所は主婦の城家族の栄養源を作り出すところですから、上ぶたのスキ間など、暖かさを逃がさないように、工夫してみてください。

それに、どこのご家庭でも北側に多いフロ場の窓にはビニールカーテンなどつけると暖かさはぐっとちがいます。

## 暴力に 弱味は禁物

犯罪のない住みよい社会はみんなが望んでいることです。しかしながら現実には犯罪が多く安心していられないという声もきかれます。この対策はないものでしょうか。それにはお隣り近所が協力し合って、連絡を密にすることです。暴力行為などは「弱味」が禁物。強くなれば暴力のつけ込む余地がありません。それには一人より二人団結することです。

# 表彰

千葉県老人福祉大会において、久保二十日会老人クラブ（市原貞一郎会長会員 六十名）は、県老人クラブ連合会長より表彰されました。

爪本禎藏氏（六軒町）は、夷隅町で開かれた、郡老人福祉大会にひばり籠を出品し、みごと特別賞に選ばれ夷隅町々長より表彰されました。

## 文化祭作品から（1）俳句（秀作）

岩瀬京子 小春日や庭に一日の小鳥籠  
 吉野つる女  
 枯菊にかゝめばほのかいつ炊 手ひらに露ころころと萩に  
 小平寿江子  
 かむ ふれ 栗原 清  
 人の影のびゆく砂丘秋ゆくや 菊ありて何かゆかしき大藁家  
 朝 やけうはあれもしこれも 渡辺みち  
 して 枕辺にこうろぎ鳴くや佗び住  
 居 居 片岡 歌笑  
 榎ぬらす露のしとどの庭小菊 身も山も紅葉にとけて湖渡る  
 原田光子 内山理一郎  
 萩 いかつるす炎昼蔭の影は濃し  
 小林ちず子 石田ゆき緒  
 朝寒の町ゆるがせて海鳴れり 海女として生れてなおも月ま  
 石井てる子 つる  
 夫と居る間も短かしや月つま 蟠螂の目のすさまじき露の中

## ●ごみはこうして



台所からでるゴミは写真のようにして、ポリバケツに入れ、収集日にだしましょう。みた目にもき

れいですし、処理が簡単にてきますので、ご協力ください。

## 子ども会に贈り物

## チャリティエイボウリング

## 黒潮会のメンバー

子ども会のよい子たちにプレゼントをしようと、黒潮会（長谷川忠司会長）のおじさんたちが慈善

ボウリング大会を行いました。この催しにたくさんのおじさんたちが賛成し、会費がどんどん集ま

りましたので、そのうちの一部五万四千七百五十円を町じゅうの子ども会のよい子たちにお付けてくれました。このお金でためになる物を買ってあげようになり、おじさんたちにお礼をしましょう。

### マイベビー



吉野美由紀ちゃん (47.5生 実谷)

男の子の誕生ばかり夢みていましたので、困りましたが、つとめて素直な名前をと、心掛けました名付け役は母親の喜久江さん。

父 吉野 毅さん  
 母 喜久江さん

人口 (10月末現在)

	対前月比
男	3, 900 3
女	4, 551 Δ 1
計	8, 451 2
世帯数	2, 162 Δ 3